

# 海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記をめくるように積み重ねた歴史を紹介します

## “ TOYO KISEN KAISHA ” THREE SISTER SHIPS



制作：1900年後半ころ  
寸法：81.5×134.5cm(本紙)  
画材：紙、鉛筆、水彩

### 浅

野総一郎(1848~1930)によって1896(明治29)年6月2日に設立された東洋汽船(株)<sup>\*</sup>の社章は日の丸の扇型です。社章では「富士を逆にした扇形」と歌われていました。

この英語版ポスターは、その社章である扇形をほうふつとさせるもので、鉛筆で下書きした上に彩色されていますが、船体などに塗り残しが多いため未完成のポスターの原画と思われます。当時は長方形のポスターが主流でしたので、非常に珍しい形のもので、ポスター下部にはサンフランシスコ航路の図が描か

れています。また中央に配置されているのは、トップが黒く着彩された黄色いファンネルと船体が一部白く塗られた「日本丸」型の船です。東洋汽船が1898(明治31)年12月15日にサンフランシスコ航路第1船として就航させた「日本丸」は、香港とホノルル(米国)を経由して翌年1月14日にサンフランシスコ(米国)に到着しました。その後同型の「亜采利加丸」「香港丸」の2隻も順次同航路に就航し活躍しました。ポスター右側にはその3隻の姉妹船を人間に見立てた三姉妹が描かれ、それぞれ手には東洋汽船の社旗を持っています。

このサンフランシスコ航路は米国のPacific Mail Steamship社とOriental and Occidental社との共同運航でしたが、同航路に懸ける東洋汽船の意気込みが感じられる一点です。

<sup>\*</sup>東洋汽船(株)：1896年設立。1926(大正15)年経営難により客船部門を第一東洋汽船(株)として分離。同年NYKと合併した。

#### 問い合わせ

#### 日本郵船歴史博物館

- 所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
- 電話：045-211-1923
- 開館時間：午前10時～午後5時  
(最終入館：午後4時30分)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)  
12月28日(月)～1月4日(月)

- 入館料：一般400円、シニア(65歳以上)・中高生250円、小学生以下無料  
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の掲示で入館無料)
- ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>